

本日の主な論点

AIやICTなどの技術革新の進展、グローバル化が進む一方で、今後、さらなる人口減少や少子高齢化の進行による人口構造の変化が予測される。

これらの社会変化を前提に、淡路地域での「暮らし方」、「働き方」、「コミュニティのあり方」等の変化や、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を契機とした“with コロナ社会”“ポストコロナ社会”としての地域づくりの方向性、行政の役割について考える。

《論点》

①あわじ環境未来島構想の取組及び3市のまちづくり計画を踏まえ、30年後の地域づくりの方向性はどうなるか。

(重視することは何か、方向転換する部分はあるか)

②また、様々な社会変化や新型コロナウイルス感染症の影響などがある中、地域づくりにおける行政の役割・立場はどうあるべきか。

(限られた行政資源をどう活用するか⇒人口減少対策、教育、福祉、観光、小規模集落対策、地域産業の活性化 etc…)